

第23回「8・15平和を考える集い」

シンポジウム 地域から持続可能な循環型社会をつくる

～東日本大震災・福島原発事故を踏まえて～

日時 8月21日(日) 13時開場 14時開会～17時閉会

会場 ムーブ5 F (大手町・旧九州厚生年金会館前)

核、放射能、原爆という一連の言葉に、私たちは世界一敏感な国民であったはずですが、核の平和利用、いわく地球環境のため をうたい文句に広島、長崎の悲劇を忘れてしまったのでしょうか。「3・11」はその経済や環境などに壊滅的打撃を与えました。このつけは未代まで背負われます。命と暮らしの持続可能な循環型社会とは。安全な再生可能なエネルギーを含めた「地産地消」。価値観の転換 脱原発へ。

参加費 500円

原発被災者の訴え 村田 弘 (元朝日新聞記者・南相馬市から横浜市に避難)

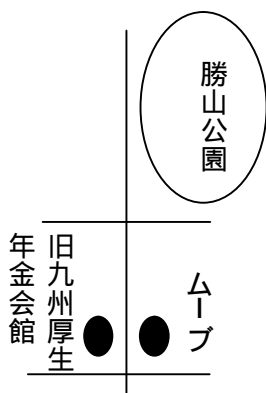
問題提起 岡田知弘 (京都大学公共政策大学院経済学研究科教授)

コーディネーター 古藤 宗治 (元朝日新聞記者、糸島市在住)

パネラー 深江 守 (九電の原発廃炉を求める連絡会)

関 宣昭 (NPO法人・里山を創る会)

杉山 正隆 (歯科医師、元毎日新聞記者、被災地医療活動)



主催 新聞OB会北九州 代表・小熊坂 公千

(連絡先 093・473・5689 = 並波真 事務局長)